



2021 年秋の川上 ^{スタイル} style の様子

はき"のね vol.12

萩ネットワーク

萩・明倫学舎3号館 &市民ギャラリー オープン!

藩校跡地に建つ日本最大級の木造校舍だった旧明倫小学校を改修し、新たな萩の観光起点として生まれ変わった萩・明倫学舎は4棟ある校舎のうち、本館と2号館の2棟が平成29年3月に開館しました。

本年3月には市の移住・定住相談窓口となる「萩ポルト」暮らしの案内所」のほか、Wi-Fi環境が整ったコワーキングスペース、IT企業のサテライトオフィス等が入居する4号館が開館し、9月1日には3号館がオープンしました。

3号館の1階には観光地づくりの拠点として「市観光課」や「萩市観光協会」、「萩温泉旅館協同組合」、「はぎ温泉配湯協同組合」を



オープニングセレモニー



4棟全景

集約し、観光の拠点施設としての機能が強化されます。

また、2階には市民の皆様への絵画や写真等の作品を発表して頂くための専用施設として、市民ギャラリーを整備し、無料で観覧いただけます。

この度の3号館の開館により本館から4号館まで渡り廊下を通じ周遊することができるようになり、平成26年からの一連の萩・明倫学舎建物に係る整備を終えました。

令和4年度中には萩・明倫センターバス停近くに、「観光案内所」を整備し、観光の起点機能を一層強化するとともに、景観に配慮した外構整備を行う予定です。



2階



1階



↑ 4号館へ



3号館入口 ※萩市観光協会は、年内の入所を予定しています。

萩・明倫学舎 コワーキングスペース を利用の際は 萩・石見空港がお得！



コワーキングスペース

「萩・石見空港利用拡大促進協議会」が航空便の利用促進のため、利用助成を行っています。

萩・明倫学舎4号館内のコワーキングスペースをご利用の際は、ぜひ、萩・石見空港をご利用ください。

■コワーキングスペース利用助成

【助成対象者】萩・石見空港を利用して来圏し、協議会が指定する圏域のコワーキングスペースを利用した人

※萩・石見空港圏域（益田市、浜



マーク



田市、津和野町、吉賀町、萩市、阿武町）在住者は対象外です。

【対象期間】4月1日～2023年3月31日搭乗分

【申請期限】搭乗月の翌月末

※3月搭乗分は4月20日（当日消印有効）

【助成金額】片道5000円／席 ※往復使用可。

※申請方法など詳しくはQRコードをご覧ください。

萩・明倫学舎入館者 100万人達成

7月16日、萩・明倫学舎の入館者数が開館5年目で100万人を達成しました。節目となる100万人目の入館者は山口市の親子連れで、萩市長から記念品が贈呈され、100万人達成記念イベントとして、大板山たたら太鼓の演奏がありました。



暮らしの中からコッコッと。

秋のSDGsな取り組み

エスディージーズ

「SDGs」とは、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のこと。その項目は多岐にわたるが、人口約44,000人（7月末）の萩市でもSDGsを実践する取り組みは、いくつも行われている。



土作りには10年かかるという



山の竹を切りだし畑の支柱に



祖母と畑仕事した記憶も活きる



ブルーベリーの実は手摘みで収穫。半分は加工用としてジャムにする

えづファーム

雑草は堆肥に。循環型農業

江崎港からほど近いえづファームは、除草剤などの農薬や化学肥料は使わずに、ブルーベリーや野菜作りを行ってきた。通常、刈り取った草を焼くことが多いが、「ここでは、そのままブルーベリーの木の根元に敷いていく。乾燥を防ぐためだ。敷かれた草は堆肥となつて土に還る。固くなりやすい粘土質の土は、近所でもみ殻をもらつて土と混ぜることで、空気が入り柔らかくなる。地域の外から持つてくるのは、1本の木に対して年間200gの「油かす」だけ。SDGsという言葉が一般的になる前から、畑が循環するサイクルを続けてきた。循環型農業により、化石燃料の使用は抑えられ、多様な生態系は保たれる。

えづファーム代表の石田芳子よしこさんは小さな頃から土いじりが大好き。漁師の家に生まれ育ったが、昔は、小麦、菜種、胡麻を栽培し、小麦粉や菜種油を自給する家が多かった。看護師として働き、町中のアパートで子育てしているときも、空き地に土があれば野菜を植えていたという。医療従事者だったこともあり「体にいいことをしたい」という意識はずっと持ち続けていた。本格的に農業を始めたきっかけは、研究者の知人からブルーベリーの苗木約50本を譲り受けた60歳のころ。長男の章吾あきむねさんも、就農することになり二人三脚でやってきた。えづファームには、野菜のファンも多い。特にルッコラは「味が濃い」と評判で、多少の虫食いや傷も問題にならない。野菜やブルーベリー、手作りジャムは、市内のレストラン「ラ・セイバ」やスーパの「キヌヤ」、道の駅などに出荷されている。



Info

萩市江崎 8767-34

08387-2-0111

あり



川上style

集落の風景をそのまま活かす



里山の集落の風景を楽しむイベント「川上style」。2021年の春にスタートし、春秋に計3回が行われ、観光地ではない川上地域遠谷地区が多くなで賑わった。イベントでは、集落には縁のなかった若者たちが、会場の準備や来場者への案内などいきいき活動している。

イベント運営の費用は、チラシ印刷代と看板の材料費くらい。住民協力のもと、あるものを活用しているので、費用はほとんどかかっていない。お酒を提供する出店もあり、チラシにバスの時刻表を載せ利用を促す工夫も行なっている。

開催のきっかけは、企画者の小野竜也さんが川上で借りられる空き家を探していたこと。小野さんは秋市大井出身。東京で就職しUターンした。亡き母の

出身地、川上地域で活動したいと物件を探すなかで、食事処の営業も行う萩焼窯元・丹妙山に立ち寄り、作家・宇田川溪山さんに出会った。宇田川さんは50代で地区の田の管理者としては一番の若手。高齢化して担い手が足りず、「この景観がなくなってしまう」と危機感を持っていった。そんな宇田川さんの尽力もあり、空き家を借りることもできた。遠谷地区の住民は、イベント開催に反対こそしなかったが、「こんなところに人が来るわけがない」という反応。それが、臨時駐車場が満車になるほど賑わい、来場者が風景に感嘆する様子を目の当たりにし、意識が変わっていったそう。

川上styleは誰もが出店しやすいようにと出店料は500円。新しいことを始めるきっかけにしてほしいと今後も変えるつもりはないという。

Info
 萩市川上遠谷 5574-1
 0838-54-2608
 (丹妙山窯)
 P あり
 f keizan.u





「Pazapa」の焼印がチャームポイント



つみき入れにぴったり。オリジナル巾着

Info
 萩市西田町 43
 080-9790-3936
 ☎ 11:00 ~ 19:00
 🗓 火曜
 🅑 あり
 📷 pazapa_hagi



廃材で作った雑貨がカワイイ！

セレクトショップ Pazapa

セレクトショップ Pazapa の「廃材つみき」は、建築会社を営むオーナーが、建設現場で出る廃材を活用したいと生まれた商品。ショップ関係者がせつせと手作りした。グラム売りで価格も手頃なので、子どもへのプレゼントに人気。インテリアにもかわいい。

陶器の破片が波で磨かれて丸くなった「シーポタリー」の小物にも注目だ。萩市在住の小物作家・saosachin は娘と海を散歩中に、海からの贈り物のようなシーポタリーに魅せられたという。店内にはブローチやピアス、髪飾りなどが並び評判になっている。



シーポタリーのブローチ。すべて一点物



菊ヶ浜の美しさは、この清掃があってこそ

菊ヶ浜を日本一美しくする会

多くの人が安らぎや勇気、そして心るさこを感じる菊ヶ浜。この美しさは、「菊ヶ浜を日本一美しくする会」が20年続けてきた清掃活動によって守られている。

会は、海岸沿いの市民が2003年に設立。浜崎から堀内まで延びる海岸約1.2kmを、3班で定期的に清掃している。清掃カレンダー以外の日も、浜のゴミに気づけば、小茅稔こがやみのり会長を筆頭に清掃し出す。その功績が認められ、6月に環境大臣表彰「地域環境美化功績者表彰」を受賞。「ゴミが上がったら拾いに行く。菊ヶ浜の汚れは自分ごとなんよ」と小茅さん。今年初めて明倫小学校で講演し、次世代への継承にも取り組んでいる。



海藻が減ったり山の植物が増えたり環境変化も感じられるそう



若手も5年で10人ほど加入！



菊ヶ浜が汚れていたら「気になる」、きれいになったら「気持ちがいい」と話すメンバー

Info
 萩市浜崎
 0838-25-5360

萩の竹から紙やアートが生まれる創造的循環

竹あそび「ひこばえ」



竹を伐る埜山さん。漬け込んで繊維を取り出し、煮て叩いて、ようやく創作できる



作品「かぐや姫の独り言“土に還る”」



竹の繊維と煤竹を使った作品「ふわふわ」

Info

問い合わせはインスタグラムのDMを利用
 @katsurako_takegami



竹紙と竹の繊維でものづくりを行う、埜山桂子さんの創作活動「ひこばえ」。荒地が進む萩の山間部で自ら竹を伐採し、半年以上発酵させて繊維を取り出し、紙漉きやオブジェなどの造形を楽しんでいる。「以前からコウゾで創作活動をしていましたが、7年前に萩に来てから竹紙に出会って驚きました。萩は人との出会いや関わりに恵まれた地で、問いかければ返ってくる。この環境に身を置く中で、単なるものづくりではなく、竹の活用や可能性も発信できればと考えています。不定期でものづくり体験も行っていきます。」

地域内の一貫生産で育つ、うま味が濃いブランド和牛

つばき姫

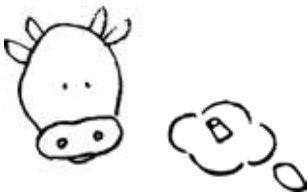
「つばき姫」とは、田万川地域小川地区の「岩本畜産」で育つメスのブランド和牛のこと。東京市場で高評価を経て、2015年に誕生した。「メスでA3ランク以上、約30ヶ月」という定義はあるが、最重要点はオレイン酸含有値。「つばき姫は55%以上。格付けやサシだけでなく、うま味を重視しています」と岩本弘司さん。そのために自社牧場で牛フンを堆肥に牧草を育て、母牛を放牧。自ら資格を取得し繁殖も手がけ、肥育牛は他から導入せず、一貫生産体制を整えている。また、つばき姫は5年前から澄川酒造場の大吟醸酒粕と、萩酒米みがき協同組合の酒米のぬかも食べている。「つま味豊かで脂質も良くなった」と好評だ。



飼料に混ぜ込む同地区産の酒粕



広々とした牛舎で育つつばき姫



「学生時に過ごしたブラジルで、循環型や高い自給率に刺激を受けた」と話す岩本さん

Info (肉の販売に関する問い合わせ)

中村精肉店 (中村商店)
 萩市吉田町 52
 0838-22-0471



資源の地域内循環で新たな価値を創造

萩新栄



柑橘残渣は牛のエサに

近年、畜産業界で話題の「エコフィード」。食品残渣を活用した飼料のことで、食品リサイクルによって資源を有効活用する循環型農業の実現と、自給率の高さが注目されている。その食品残渣を萩で資源化しているのが、萩新栄だ。一般・産業廃棄物の収集や浄化槽管理などを手がけてきた一方、3代目の烏田栄二さんが2009年に社長就任後、

「処理量を減らそう！資源を燃やしていないか？」と「ミミの地産地消をテーマに事業を見直した。」

「廃棄物とされていたものが資源となり生産へ循環するSDGsと、地域課題を解決しながら価値を創造するCSVの考え方をもちに、①紙と②食品残渣に取り組みました。①は就任後すぐに開始し、トイレットペーパーへ形を変えることができました（詳細は下記）。2014年には萩市内の柑橘残渣を、益田市の牧場飼料やアロマ事業へ活用。

2018年には、小野養豚さんが設立した『むつみ豚資源循環クラスター協議会』の一員として、スーパーの『キヌヤ』さんと『アトラス』さんの食品残渣を粉碎・脱水和し、エコフィードとして提供を始めました。同協議会の体系的な取り組みが評価され、最優秀賞（農林水産省生産局長賞・中央畜産会長賞）を受賞。「SDGsを踏まえて地元の人が幸せになれるよう、協働できるメンバーを増やしたい」と烏田さんは呼びかける。



(右から) 萩新栄・烏田社長、小野養豚・小野社長、キヌヤ菊ヶ浜店・松尾店長



エコフィードで育つむつみ豚



スーパーから届いた食品残渣

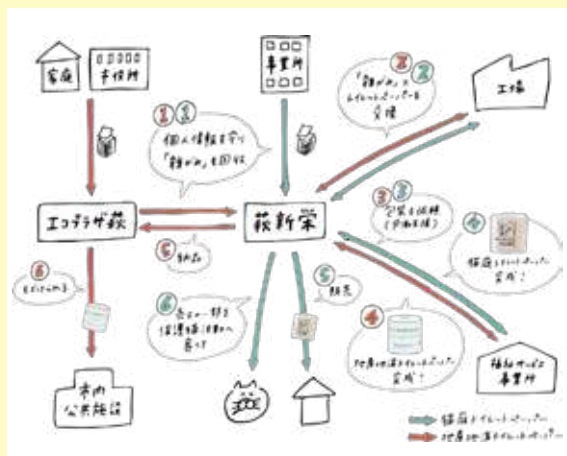
Info
 萩市椿東平方 2917
 0838-22-5237
 9:00 ~ 16:30
 日曜
 あり
 (有) 萩新栄



ごみも地産地消
 循環する
 トイレットペーパー

萩市内の雑がみ（*）を焼却せずに、溶解処理をすることで機密情報を守りながらトイレットペーパーが生み出される取り組みがある。その一つが「猫庭トイレットペーパー」。萩新栄で購入でき、売上げの一部は保護猫活動に寄付される。

もう一つが、エコプラザ・萩が行う「地産地消トイレットペーパー」。あいおいニッセイ同和損保の寄付で、全国的にも珍しい仕組みが作られている。共に、水に溶ける包装紙を使用しており、包装作業は労働支援として福祉施設に依頼している。



*新聞・紙製容器包装・段ボール・飲料用紙パック以外でリサイクルできる紙類全般

その土地の木から作る 萩焼の釉薬

萩焼の釉薬を、陶工自ら作り出すことをご存知だろうか？
2018年に登り窯を築き、400年続く萩焼の本質を踏襲する牧野窯の牧野将典さんに教わった。

萩焼を代表する釉薬として「透明釉」と「藁灰釉」があり、素材はその土地のものを使う。透明釉にはイスノキや夏みかんなどの「雑木」を多用。イスノキは家の生け垣や、柑橘の防風林として萩の生活に密着し、鉄分が少ない長所もある。流れは写真の通り。



土色を生かす透明釉。灰と長石と水のみで作られる



雑木を焼いて灰にする。数日置いて焼ききる



鉄分は萩焼に黒い斑点を生じるため灰を水に浸けて脱鉄し、アクも除く

①水に溶いた灰と、②水に溶いた長石（ちょうせき）を素焼きの破片に吸わせ、その厚みを見て濃度を確認。濃度が揃った①と②を合わせ、作家が求める配合に整える

Info

牧野窯
萩市三見市 710
0838-26-1073
(訪れる際は事前に電話確認を)



🅑 あり
🅕 牧野窯 Makino Hagiyaki Studio

萩市に関わる人の3R 拠点 エコプラザ・萩



夏はイベントに合わせて職員のユニフォームとして大活躍

リユース、リデュース、リサイクルの啓発施設として、NPOが運営する施設。県外の人も見学可能で、断捨離ブームで不要品持ち込みが増加中。市民の持ち込みは無料。小物作りやパッチワークなどのリユース講座が定期開催されるほか、自主グループによる浴衣生地（ゆいせ）の服作りも活発。
「もったいない」精神は、制服リユースや施設内で修理した家具や自転車の抽選販売とともに市民生活の助けになり、思わぬ掘り出し物や体験との出会いがあるワクワク拠点となっている。



食器・雑貨販売



ランドセルや制服



小物づくり

Info

萩市椿東 4703-49
0838-24-5300
🕒 8:30 ~ 16:30
🅕 水曜・第2木曜
🅑 あり
🅕 ecoplaza.hagi



かこいちなるく
舸子 176



内装には萩の玄武岩や椿の間伐材、旧家の古材が使われている

東京のデザイナーが手がけた「舸子 176」の空間は、歴史を宿した古材が活かされ、どこにも似ていない唯一無二の美しさ。静謐な雰囲気せいひつのなか、3店が営業する。

1店目の「百茶一心」では、中国茶やスイーツ、萩の食材たっぷりのランチも楽しめる。「萩には、すでに素晴らしいコーヒー店があるので、ここでは中国茶を楽しんで欲しい。一つの器から分けられたものをみんなで飲むという場からは特別な会話が生まれる可能性に満ちていると思う」。マネージャー小川優子さんは、そう話す。中庭をはさんだ蔵は、器のギャラリー。山口市の作家が作る中国茶器の販売もある。



中国茶器でお茶を淹れる。こだわりの島根県産茶葉も販売



お茶に合う台湾カステラ



生薬が入った「いり吉」本格薬膳鍋

築 200 年、かつての海産物問屋・旧藤井家が、複合施設「舸子 176」としてオープン。鎌倉市でウエディング事業などを手がける b.note ビーノート により、数年前から進められていた浜崎再生プロジェクトは、「浜崎ニツ權船旗」ふたつがいせんき と名付けられた。「舸子 176」はその集大成といえる。「舸子」とは、住吉神社「お船謡」ふなうた の歌手のこと。数字は浜崎の番地で、浜崎ニツ權船旗の施設名は、どれも浜崎にちなんだ名前になっている。蔵を改装した宿は「門 168」かんばんさいちろくはち に。イベントスペースとして親しまれている旧三浦金物店かいろくしゅうきゅう は「廻 69」に改名した。



菊ヶ浜から眺める日本海と島々を表現した中庭。絵画のよう

新川から移転の「いり吉」きち では、しゃぶしゃぶや本格的な薬膳鍋も味わうことができる。鎌倉のフレンチシェフの料理を堪能できる「六氣」りっき は、10 月に初回を予定している。

現在スタッフを増員し、全店オープンに向けて着々と準備中。スタッフにはパティシエ経験者も加わり、舸子 176 の菓子工房から、本社ウエディング事業の引き菓子を作る計画もある。始動した「浜崎ニツ權船旗」には、個性豊かな人材が集結。アイデアは、まだ尽きることがない。

Info

萩市浜崎町 176

0838-21-5210

百茶一心 / 舸子の蔵

🕒 11:30 ~ 17:00

🗓 日・月曜

いり吉

🕒 18:00 ~ 22:00

🗓 日~水曜

🅑 3台

📍 futatsugaisenki_hamasaki



NEW OPEN 萩市に新しくオープンしたお店をご紹介します！

渚の一棟貸しホテル はぎうみ -hagiumi-

シェアサイクルや空間再生を手がける企業「トリシクル」が、民宿をリノベーションし、一棟貸しの宿を7月にオープン。菊ヶ浜までは徒歩6分。海遊び後に便利な中庭の温水シャワーや、離れに広いバスルームやサウナを設け、海とリラックスの要素を満たす設備が充実。サーフボードやSUP、バーベキュー道具もオプションで揃う。

「鎌倉と萩の2拠点生活を踏まえ、暮らす感覚をデザインに反映しました。こういったシェアリングエコノミーによって、空き家問題の解決と萩の楽しみ方の提案につながれば」と話す田畑至誠しじょうオーナー。プライベートな一棟貸しなので、家族や仲間と気兼ねなく過ごすことができる。



居心地の良いリビングと料理ツールが充実したキッチン



2階建て。ベッドルームは3部屋



自身も海が好きだという田畑さん

Info

萩市今魚店町 61

080-1638-4450

🕒 IN 12:00 OUT 12:00

2名 44,000円～（1名追加ごとに11,000円プラス、最大6名、お子様の添い寝については応相談）

🅑 3台

📷 hagiumi



古民家喫茶 亀の家



縁側沿いのソファなど、お気に入り席を見つけたい店内

得意のシフォンケーキなど、お菓子作りと喫茶店巡りが好きで、「いつか古民家で喫茶を」とイメージしていた店主の中原早霧さぎりさん。夫が営む「昭和レトロ雑貨 AITA」アイタの店舗近くで築100年ほどの古民家に出会い、1年間少しずつ準備して4月にオープンした。

店内は、ソファやダイニングチェアなどテーブルごとに異なる家具を配置。ユーズドの温もりと落ち着きが、ゆったりした古民家の雰囲気にも溶け込む。気まぐれスイーツは毎日2、3種類。国産小麦粉やてん菜糖で作るシフォンケーキには、豆乳アイスが添えられる。コーヒーはステンレスフィルターで淹れ、豆の個性を引き立てている。



中原さん。レトロなお盆がかわいい



カップは大屋窯・濱中史朗さんのもの

Info

萩市椿 2150

050-3647-1039

🕒 10:00 ~ 16:00

📅 不定 ※ HP やInstagramに掲載

🅑 4台

📷 kame_no.ie.2022



8/10

ヨルダン・ハシエミット王国特命全権大使 リーナ・アンナーブ氏が萩市を表敬訪問

ヨルダンと萩市の関係については、2012年から2016年までヨルダン・ハシエミット王国サルト市で、持続可能な観光開発プロジェクトが国際協力機構（JICA）により行われ、このプロジェクトに萩市から文化資源管理・景観管理の専門家として2人の市職員をサルト市に派遣するほか、市内で実施された研修の受け入れなどを行ってきました。

「萩まちじゅう博物館」の取り組みを参考にした活動は順調にサルト市で根付いており、2021年には「サルト」寛容と都市的



リーナ・アンナーブ大使と田中萩市長

ホスピタリティの場」が、世界文化遺産に登録されています。11月に交流イベントとして、写真展や映画上映が萩ツインシネマ等で行われます。

ヨルダン映画・写真展× 萩まちじゅう博物館

難民をテーマとしたヨルダンのドキュメンタリー映画「タイニー・ソウルズ」の上映会とヨルダンのまちなみや風景を紹介する写真展を開催します。

【期間】11月7日(月)～25日(金)

【会場】○萩市役所本庁ロビー：写真展(11/7～11/18)

○萩ツインシネマ：写真展(11/19～11/25)、映画上映会(11/20～11/25)



(問) 萩市まちじゅう博物館推進課
☎ 0838-25-3290

10/1

「萩循環まあるバス」が新ルートで運行開始!

10月1日から、市街地交通として多くの方に利用されている「萩循環まあるバス」は、萩市民はもとより、観光客等の移動手段として、より利便性の高い公共交通を目指し、新ルートでの運行を開始します。

また、新ルートの運行に合わせて、子ども料金、障がい者割引制度を導入しました。

萩ツインシネマ製作映画

「ハッピーバースデー」上映中

〜みんなみんな生まれてきてくれてありがとう〜

萩市東田町の映画館「萩ツインシネマ」が制作した映画「ハッピーバースデー」が、12月23日まで同館で公開されています。

令和3年の文化庁AFF（アーティストフォーザーフューチャー）事業の認定を受けて昨年8月に制作を

始めました。この事業は、コロナ禍で、若手俳優やカメラマンへ仕事を提供することも目的としているため、同館の映画祭で知り合った映画関係者にも撮影協力をしてもらいました。

ロケ地は主に三角州内で、主人



(問) 萩市商工振興課
☎ 0838-25-3583



(問) 萩ツインシネマ
☎ 0838-21-5510

公の女子高校生ら100人の市民が出演しました。また、山口県立萩高等学校の空き教室で授業の撮影をしました。

同館支配人でプロデューサーの柴田寿美子さんは、「魅力的な場所のある萩だから満足できる仕上がりになりました。血のつながりや国籍を超えたところで家族について考える作品になったと思います」と手応えを感じていました。



**松下村塾創立180年
国指定史跡指定1000年記念**



幕末期に吉田松陰が主宰した私塾「松下村塾」。1842年に玉木文之進が創立し、本年で180年。また、1922年には国指定史跡として指定され、本年で1000年が経過しました。

2015年には「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として世界遺産に登録され、この「松下村塾」を貴重な観光資源として活用し、引き継がれてきた歴史、文化遺産、物語を探究した記念事業を開催します。

◆特別展「松下村塾の50年」

【日時】 11月29日(火)まで

【場所】 松陰神社宝物殿 至誠館

【内容】 50年にわたる松下村塾の歩みを振り返るとともに、明治22年(1889)から取り組まれる保存活動についても紹介します。
(問) 松陰神社宝物殿 至誠館
☎0838・24・1027

◆プレミアム松陰講話

【日時】 10月15日(土)、11月15日(火)、12月15日(木) 14時〜15時30分

【場所】 松下村塾

【内容】 通常は上がることで

ない松下村塾に特別に上がり、名誉宮司や宮司による講話を聴きます。

【参加料】 2000円

(申) ご希望日の1週間前までに、萩市観光協会へ

☎0838・25・1750

◆松陰神社 物産展

【日時】 10月27日(木)〜29日(土)

【場所】 松陰神社内駐車場

【内容】 松陰神社秋季大祭に合わせて、観光物産展を開催します。

(問) 萩市観光協会

☎0838・25・1750

◆関連イベント

「伊藤博文旧宅特別公開」

【日時】 10月29日(土)〜11月6日(日)

【場所】 伊藤博文旧宅

【内容】 松下村塾の塾生でもあり、初代内閣総理大臣の伊藤博文が暮らし、昨年末全面的な保存修理工事が完成した国指定史跡「伊藤博文旧宅」を解放します。通常は土間までですが、期間限定で室内にも入ることができます。

(問) 萩市観光課

☎0838・25・3139

3年ぶりに開催された住吉祭「御船謡」を応援！「誇りの謡」萩住吉祭」がテレビ放送

ダイドールグループ「日本の祭り」

は、2003年から日本各地の祭りを応援され、テレビ番組の制作・放映をはじめウェブサイトで様々な祭りの魅力を発信しています。

今年山口県から、萩市の住吉祭を取り上げられコロナ禍で2年間中止されていた住吉神社「御船謡」の奉納に密着しました。

祭り当日の8月3日にはダイドールグループの関係者が萩市を表敬訪問しました。「祭りを通じて

地域の元気を応援したい」、「貴重な日本の伝統や文化を後世に残したい」という思いで祭りの魅力を発信していますと話されました。

山口県内での放映は9月でしたが、BS12トゥエルビの「ダイドールグループ日本の祭り」にて今後放送される予定です。



萩の世界遺産スタンプラリー&SNS投稿キャンペーン

萩市の「明治日本の産業革命遺産」構成資産5資産と世界遺産ビジターセンターの計6カ所を巡るスタンプラリー&SNS投稿キャンペーンを実施します。4カ所以上のスタンプを集め、応募してください。

また、各資産で撮影した写真・動画を萩市観光協会のインスタグラムまたはフェイスブックをフォローし、指定のハッシュタグをつけて投稿してください。

当選者・優れた投稿をした人には、萩市の世界遺産関連グッズの詰め合わせをプレゼントします。

【期間】 10月1日(土)〜11月30日(木)



【場所】世界遺産ビジターセンター(萩・明倫学舎2号館)、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、萩城下町、松下村塾、大板山たたら製鉄遺跡

(問) 萩市文化財保護課
☎0838-25-3835



萩の特産品が鎌倉へ 鎌倉市姉妹都市物産展

鎌倉市と萩市、長野県上田市、栃木県足利市の計4市の特産品が一堂に集結。萩市からも、おいしい特産品をご紹介します。

【日時】10月7日(金)・8日(金)

9:30～16:00 (最終日は15:30まで)

【会場】鎌倉生涯学習センター

きらら鎌倉1階ロビー (鎌倉市小町1-10-5)



(問) 萩市商工振興課 ☎ 0838-25-3108

萩・田町萩焼まつり 2022



「萩焼コンシェルジュ」を設置し、萩焼探しや萩焼に関するご相談をお受けします。

【日時】10月8日(土)～10日(月)祝 10:00～17:00

【会場】田町商店街、萩・明倫学舎(本館・3号館)

※詳しくは、HPをご覧ください。

(問) 萩・田町萩焼まつり実行委員会事務局

☎ 0838-25-3333

萩焼伝統工芸士会作家展

萩焼の伝統継承、後継者育成や技術・技法の向上のため活動している萩焼伝統工芸士会作家11人の自慢の1点と日用の器1点の計22点を展示します。

【日時】10月1日(土)～14日(金) ※水曜日休館

9:00～17:00

【会場】渡辺蕎蔵旧宅

(問) 萩市商工振興課

☎ 0838-25-3108



萩焼の魅力を首都圏へ

期間限定 「萩焼食堂」と萩焼のショップがオープン

萩市では、萩焼をはじめとする特産品の新たなファンを獲得し、販路を拡大するため、今年度、東京メトロ構内で配布されるフリーマガジン「メトロミニッツ」(9月20日発行)の特集ページで萩焼の魅力を紹介しました。

合わせて、東京駅そばのTOKYO TORCHでは、萩の食材を使用した「しそわかめ&豚汁」ランチ(1日限定20食、売り切れ次第終了)を萩焼の器で味わえる「萩焼食堂」をオープンします。併設のショップでは若手萩焼作家の萩焼等の販売を行い、日常使いの萩焼を手にとってお楽しみいただけます。

【期間】10月3日(月)～10月28日(金) 11:00～14:00

(ランチは14:00まで) ※平日限定

【場所】TOKYO TORCH 常盤橋タワービル

3階 MY Shokudo

Info

萩市商工振興課

☎ 0838-25-3108

MY Shokudo

<https://mhk-tokyotorch.jp>



萩時代まつり

萩市古来の奉納行列「萩大名行列」が市内を練り歩く、秋の一大イベントです。今年は、「平安古備組」のみの行列で、城下町を中心に市内を練り歩きます。

沿道の要所では、据えた御駕籠の前で草履を持って舞う草履取りの舞が披露され、長さ約5.5mの長柄の槍を豪快に操作する長州一本槍なども必見です。

【日時】11月13日(日)

【場所】金谷天満宮ほか市内各所



(問) 萩市観光課 ☎ 0838-25-3139

藤田伝三郎没後110年記念事業 香雪園リニューアルオープン!

萩出身で明治時代の実業家、藤田伝三郎^{でんざぶろう}。藤田組を設立し、私鉄鉄道の開設や、秋田県の小坂鉱山の再生、岡山県の児島湾干拓など多方面にわたる事業を展開しました。

この度、没後110年を記念して藤田伝三郎誕生の地である「香雪園」に藤棚等の設置や「三石組」^{さんせきぐみ}を復元するなど、城下町景観にふさわしい緑地にリニューアルしました。観光客や市民に親しまれる新たな「香雪園」として城下町の賑わいを創出します。

【日時】10月1日(土)から

【場所】香雪園(萩市呉服町1丁目7番地)



三石組



藤田伝三郎

鉄道開業150周年記念イベント 鉄道ふれあいデー

10月14日の鉄道開業150周年の記念日に合わせて、萩駅舎で鉄道のジオラマ展示や模型の運転体験、ジオラマ製作体験を行います。

また、駅舎内で開催中の「鉄道の父」井上勝の特設展示と合わせて、山陰本線の鉄道の古写真や映像もご覧いただけます。

【期間】10月14日(金)~16日(日) 9:00~17:00

【場所】萩駅舎と萩市観光協会会議室(2階)



(問) 萩博物館 ☎ 0838-25-6447

「柴犬によるお出迎え」行事、 いよいよスタート!!

萩・石見空港では、空港のある島根県益田市が、柴犬の祖犬「石号」^{いし}の生まれ故郷ということで、柴犬たちによる到着客のお出迎えが始まりました。

毎月、第1と第3の土曜日、萩・石見空港の到着側自動ドアを出たすぐのところで、ANA725便(定刻9:45着)の到着客の皆さまを地元のSHIBA-INU ALLSTARS(柴犬オールスターズ)がお出迎えします。

また、8月の第5回目お出迎えには、スペシャルゲストとして田中文夫萩市長が参加し、トランペットを演奏して到着客をお出迎えしました。



着物ウィーク in 萩

世界遺産の城下町を着物でまち歩きしませんか。和の体験や写真撮影などをお楽しみいただけます。着物姿の方には「萩トラベルパス」をプレゼント！

【日時】10月1日(土)～10日(月)祝 10:00～17:00

【場所】萩・明倫学舎(着物レンタル・着付け会場、

総合案内所)、萩城下町周辺(和の学び舎、写真撮影&プレゼント)ほか市内各所にて

(問) 着物ウィーク in 萩実行委員会

(萩市観光協会内)

☎ 0838-25-1750



萩観光キャンペーン「GO TO 萩」

萩・竹灯路物語 ×

プロジェクションマッピング

城下町周辺に立ち並ぶ竹灯籠が演出するほのかな灯りに加え、今年は観光振興のためにと萩市にふるさと寄付をされた前澤友作氏(株)スタートトゥデイ代表取締役社長の寄付金を活用したプロジェクションマッピングを大々的に実施します。

歴史的町並みが鮮やかに彩られ、一味ちがう幻想的な萩の夜をお楽しみください。

【日時】10月8日(土)～10日(月)祝 18:00～21:00

【場所】萩城下町周辺

○プロジェクションマッピング

菊屋家住宅南庭、菊屋横町、晋作広場、御成道ほか

(問) 萩・竹灯路物語実行委員会事務局

(萩市観光課内) ☎ 0838-25-3139



萩博物館

☎ 0838-25-6447



秋期特別展

江戸時代の地図 古地図で探ろう、ふる里や国の姿・形

会期 10月1日(土)～12月11日(日)

江戸時代に作成された地図を中心に紹介し、長州萩から日本、国外へと視野を広げ、魅力たっぷりの古地図の世界にいざないます。



江戸時代の地図 長門・周防両国図

会員募集！

全国のネットワーク会員に、年4回隔月で郵送発行月：1・4・7・10月号(1994年10月創刊) 会費：一般2,000円、特別賛助10,000円

山口県立萩美術館・浦上記念館

特別展示 しょうしゅうか 蒐集家 浦上敏朗の眼 浮世絵・やきもの名品展

【会期】11月13日(日)まで

萩市出身の実業家で、萩美術館・浦上記念館の名誉館長だった浦上敏朗氏(1926～2020年)蒐集のコレクション名品展。浮世絵とやきものの逸品、約280点をご紹介します。



☎ 0838-24-2400



葛飾北斎「風流無くてなぐせ遠眼鏡」享和期(1801～1804)頃

はぎのね vol.12 (2022年10月1日発行) 発行：萩ネットワーク協会 編集：つぎはぎ編集部・萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市江向510 萩市役所広報課内 ☎ 0838-25-3178 ⑤ 0838-26-5458 ① hagi-network@city.hagi.lg.jp

本誌掲載の写真・記事の無断転載ならびに複写を禁じます。掲載したQRコードはアクセス解析のためCookieを使用しています。アクセス解析は、匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。この機能はCookieを無効にすることで収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザ設定をご確認ください。